

令和 2 年度

学校関係者評価報告書

令和 3 年 6 月

学校法人日本コンピュータ学園

東北保健医療専門学校

令和2年度 学校関係者評価報告書

平成20年度に学校教育法施行規則が改定となり、専門学校による学校自己評価の実施が義務化されたことを受けて、東北保健医療専門学校では、平成24年度より教育活動実施状況を総合的かつ客観的に点検・評価し、問題点を明らかにした上で、次年度の教育活動や学校運営の改善に活かし、開かれた学校づくりを進めることを目的とした「学校自己評価」を実施しています。

さらに、平成25年度からは、卒業生、関係業界、学識経験者から成る「学校関係者評価委員会」を設置し、学校関係者による評価も実施しております。

令和2年度の教育活動や学校運営などについて、全教職員で学校自己評価を実施しました。その結果に基づき、学校関係者評価委員会を開催し、多くの貴重なご意見やご指導を頂きました。

今後とも学校関係者評価を計画的、継続的に実施し、教育の質の向上、学校運営の改善強化に向けて取り組んでいく所存です。

1. 学校関係者評価委員会（令和3年5月27日実施）

学校関係者評価委員

菊田 正信 氏	学校法人日本コンピュータ学園	卒業生（委員長）
三浦 陽平 氏	独立行政法人国立病院機構宮城病院	作業療法士
渡部 達也 氏	株式会社わざケア	代表取締役
渡邊 好孝 氏	医療法人社団光友会	介護老人保健施設アルパイン川崎 地域包括ケア推進部 部長

事務局

清水 逸	校長
大苗 敦	法人事務局 部長
上遠野純子	東北保健医療専門学校 教務部長
佐藤 美加	東北保健医療専門学校 教務課長
和地 辰紀	東北保健医療専門学校 教務主任
木田 真千子	東北保健医療専門学校 教務主任
藤井 貴	東北保健医療専門学校 教務主任
鈴木 香織	東北保健医療専門学校 総務課長
岩渕 富美子	法人事務局 課長代理（書記）

2. 評価対象期間

自：令和2年4月1日

至：令和3年3月31日

3. 実施方法、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、学校関係者評価委員の皆様に「学校自己評価」の結果について事務局より説明し、評価結果に対するご意見を頂きました。頂いたご意見は、本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等に公表致します。

4. 評価基準毎の学校関係者評価

評価項目毎に委員からの評価、意見、提案を報告します。

評価は、4～1の点数で記載します。

評価 4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切

■基準1 教育理念・目的

評価 4

- ・ 教育理念・目的、育成人材像について明確に定められ、学生便覧・学修要項（運営方針・教育計画）・入学案内・ホームページで広く周知している。
- ・ 教育課程編成委員会の委員からの意見を踏まえ、学科ごとに業界の現状を見定めながらカリキュラムを検討するとともに、業界のニーズを踏まえたカリキュラムの変更が行われている。
- ・ 新しい職業教育の試みとして、地域包括ケアに資する人材育成のために、関連職種の連携について複数学科で講義を運営するなど体制を整備している。

■基準2 学校運営

評価 4

- ・ 学則の目的、基本方針及び職業実践専門課程の目的に基づいた運営方針を策定している。昨年度より修学支援新制度のガイドラインに基づいた運営にも取り組んでいる。
- ・ 人事、給与の制度は法律改正に合わせた見直しを適宜実施し、整備、運用している。
- ・ 組織体制の整備や委員会などの役割分担は明確になっている。また、新型コロナウイルス感染症対策をするうえで、速やかな意思決定・情報共有を必要とするため、教職員の対応を改善するなど適切に見直しを行っている。
- ・ 出席管理や成績管理については、引き続き、情報システム化することで業務効率化を進めて頂きたい。また、昨年より学内でオンライン授業を実施するためにアプリケーションソフトを使用し始めたことは、学生にとっても卒業後の就職先でそのノウハウを活かせるような取り組みになることを期待しています。

■基準3 教育活動

評価 4

- ・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針を策定しており、業界のニーズを踏まえ今後もより良い検討を進めて頂きたい。また、教育到達レベルや学習時間の確保について

ては、学科ごとに十分に検討・改善され、到達レベルに応じて演習指導が行なわれている。

- ・ 理学療法科・作業療法科・介護福祉科は指定規則改訂に伴い見直し、新しいカリキュラムでの運営を開始している。歯科衛生科は、卒後の職域拡大や国家試験内容も踏まえたカリキュラムや履修時間数の見直し、医療秘書科・医療情報管理科は学科再編成など今後も検討を進めて頂きたい。
- ・ 令和2年度の臨床実習は感染予防対策として、すべて学内演習に切り替えたが、現場の臨床実習と同等の知識を習得できるように実施運営している。また、オンライン授業においても、教員と学生が円滑にコミュニケーションを取ることができ、学生からの質問や確認作業が多く見受けられたことは学修への向上心に繋がったことが伺える。
- ・ 教員の研修については、専門分野の最新技術・知識や指導力向上のための研修を必要に応じて実施している。特に臨床実習指導者の研修は、オンライン開催を含めてそのような機会や時間を広く受け入れて頂きたい。

■基準4 学修成果

評価 4

- ・ 就職については、担任と就職センターが連携し、学生への早期意識づけを行うなど、きめ細かな支援をすることで良い結果が出ており、今後も継続して頂きたい。
- ・ 学校全体として資格取得率の向上が図られている。引き続き国家資格・各種資格試験の合格率向上のため学科単位、学校全体として、さらなる対策強化に期待したい。
- ・ 退学率低減のために、入学前学習支援を導入し、入学直後からはオンラインも含めた学生面談をきめ細かく行うなど、早期に学生の状況把握に努めたことで、令和2年度は退学率を軽減することができ、一定の成果が伺える。

■基準5 学生支援

評価 4

- ・ 学生の進路・就職については、「就職支援プログラム」の下、担任と就職センター、担当教員が連携して計画的に指導が行われている。
- ・ 学生相談に関する体制は整備されており、担任が直接相談を受ける場合や、当校の学生サポート委員会が問題・課題に応じて部門担当者に取り次ぐなど、今後も学生が相談しやすい環境を整備して頂きたい。
- ・ 生活面及び健康管理に対する支援体制は整備されている。引き続き、感染予防対策についてはより良い取組みを継続して頂きたい。
- ・ 学生寮をはじめ、校内にはメディアセンター、ライセンスサポートセンター、食堂、

売店、就職センター、保健室、学生相談室、自習室などを備え、適時個別の相談を実施し、学生の生活環境への十分な支援が行われている。

- ・ 介護福祉科の高校訪問ガイダンスや介護従事者確保対策事業で高校を訪問するなど、積極的に情報発信してきたことが伺える。今後も職業理解を深める企画の実施や高校と連携したキャリア教育・職業教育を推進して頂きたい。

■基準 6 教育環境

評価 3

- ・ 施設・設備は学科や学生数、利用状況に応じて十分確保されているかを適切に把握することで、今後も整備・更新を計画的に検討して頂きたい。
- ・ 関連分野において、学内外の実習地確保に向けた取り組みは、コロナ禍であっても実施できている。引き続き各学科においてより良い教育体制を整備することに努めて頂きたい。

■基準 7 学生の受け入れ募集

評価 4

- ・ 学生募集広報活動は適正に行われており、教育成果も正確に伝えられている。今後も入学希望者に積極的に情報発信するとともに、職業理解を目的とした「体験実習」を充実させるなど、入学後のミスマッチを防ぐ取り組みを継続して頂きたい。また、感染症予防として、オンラインでの学校説明会や進路相談会を実施しており、状況に応じた体制を早急に整備し、新しい形での学生募集活動に取り組んでいることが伺える。
- ・ 学納金は、教育内容や教育環境、他校の学費水準に照らし協議のうえ決定されていることは、妥当であると考ええる。さらに卒業までに必要な経費全てについても、募集要項に記載され、透明性のある情報提供を行っている。

■基準 8 財務

評価 4

- ・ 学校の財務状況及び会計監査は適正なものであり、今後も予算編成・執行等、財務基盤の安定に努めて頂きたい。
- ・ 財務状況はホームページ上で公開されており、情報公開の体制整備ができている。

■基準 9 法令等の遵守

評価 4

- ・ 関連法令・施設設置基準ならびに個人情報の取り扱いについては、適正に周知・遵守しており、引き続き的確に実施して頂きたい。
- ・ 個人情報の保護については規則や基準に基づき、学生及び教職員へ周知するとともに、適切に管理・運用している。
- ・ 学校自己評価を実施し、課題の明確化を行っている。さらに、内容を事業計画に反映し、改善に取り組んで頂きたい。
- ・ 自己評価結果は適切に公開している。

■基準 10 社会貢献・地域貢献

評価 4

- ・ 介護福祉科は宮城県介護協の幹事校として、介護人材確保に向けた様々な取り組みを行っている。理学療法科は宮城県養成施設協議会への参画、作業療法科は臨床実習指導者研修会の企画運営、歯科衛生科は宮城県歯科衛生士離職者支援事業協議会に参画するなど、保健・医療・福祉・介護を担う専門職を育成する養成校として今後も実施協力して頂きたい。

■基準 11 国際交流

評価 4

- ・ 姉妹校・仙台国際日本語学校の卒業生のベトナム人留学生 5 名が介護福祉科に在籍し学んでいる。日本語能力が高く、オンラインでの学内実習も適切に受講しており、学内外の学修・生活支援を十分に受けながらより良い環境で学生生活を送ることができていることが伺える。引き続き、日本の介護福祉士国家試験に合格できるようきめ細かな教育支援に期待したい。

以上

学校法人日本コンピュータ学園 東北保健医療専門学校

〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院 1 丁目 3 番 1 号
